

F-15 中高年主婦の勤労観 その2 一市川市およびその周辺の場合一

和洋女大家政 ○酒井ノブ子
金蘭短大 篠原 冬

目的 筆者らが先に女子学生の勤労観について調査発表したことは前述のとおりである。また酒井は昨年の本総会で中高年主婦の勤労観について発表した。今回は高年主婦をより多く対象として送り、中高年主婦の特質と地域的特質を明らかにしようとするものである。

方法 調査時期は53年6月で、対象は和洋女大の家政系の自宅通学生の学部3、4年、短大2年の母親全員に質問紙と同封して依頼し郵送によって回収した。回収率は55.4%、有効率は98.08%であった。

結果 職業別にみると専業主婦と有職主婦の間では、生きがいを感じている事柄や日本人の働き方、余暇の活用と過ごし方への評価などに違いがみられた。また年令的な違いについては余暇の過ごし方への評価以外は有意差がみられなかった。また勤勉に対する美徳意識の違いによる分析では就職時の仕事の送り方と日本人の労働のしかたや余暇の過ごし方への評価に違いがみられた。また大阪市およびその近郊都市と市川市およびその周辺とでは、生活や仕事に取り組む態度や余暇の活用や評価の一部に地域的な有意差がみられた。